

一般質問

3月定例会の一般質問には、13名の議員が登壇しました。
質問項目と内容(抜粋)をお知らせします。

この項目について町の考えを聞きました

まちづくり・活性化

寄居駅南口一帯の現状と整備(神田議員)
月面探査ロボット「寄居の製造業で宇宙へ」(大平議員) → P.13

女性パワーを積極的に行政に活用(田母神議員)
中心市街地活性化(津久井議員)
メアリスビル市との友好都市提携(津久井議員)
(仮称)寄居PASmartIC整備事業(津久井議員) → P.16
市街地活性化(峯岸議員)
鉢形駅観光トイレ新設(原口昇議員) → P.18
町道127号線(農免道)の進捗状況(原口昇議員)
自治体間の友好提携事業(坂本議員)
公共交通機関整備促進事業(坂本議員)
東上線沿線サミット(坂本議員)

行政運営

町長の行財政運営(原口孝議員) → P.16
財政計画(峯岸議員) → P.17
町政運営に取り組む町長の政治姿勢(坂本議員) → P.18

防災

寄居の防災対策(神田議員) → P.12
特別災害の指定を受けた大雪被害(大平議員)
雪害対策の取り組み(佐藤議員)
地域の防災力向上の取り組み(鈴木議員) → P.14
大雪に伴う被害状況と対応(田母神議員)
大雪による道路等の対策(瀧澤議員) → P.15
改正災害対策基本法への対応(大久保幸議員)
大雪による苦情等(津久井議員)
大雪被害に対する復興支援と今後の対策(岡本議員) → P.17
想定外の大雪(原口昇議員)

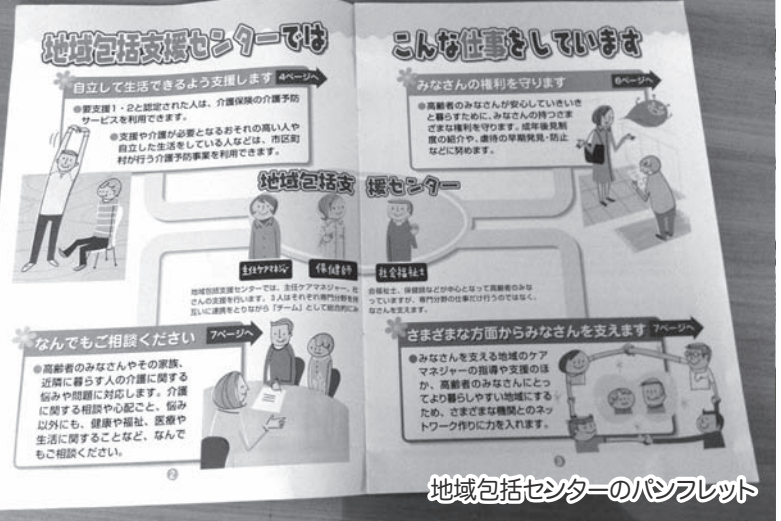
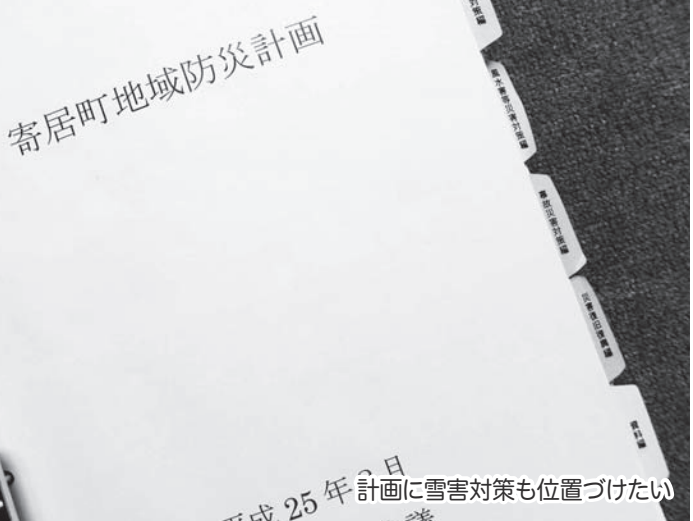
福祉・健康

医療・介護の取り組み(佐藤議員) → P.13
高齢社会の課題(鈴木議員)
福祉のまちづくり(大久保幸議員) → P.15

教育・子ども

学校給食の放射性物質検査(神田議員)
町立保育所の職員採用(田母神議員) → P.14

※1人1項目を要約して掲載。全文は会議録をごらんください。会議録は印刷でき次第、町立図書館で読むことができます。



大雪も想定した防災対策と早い情報発信を

答弁⇒正確な状況を確認し、情報を発信します



神田 大平 議員

問 今後、今回のような大雪を想定した対策を、寄居町地域防災計画に位置づける考えがあるか伺います。

答 昨年2月改定の防災計画には大雪災害について詳細に記載している項目はありませんが、国や県の今後の動向を見きわめ、対応していきます。

問 町からの情報発信が、近隣自治体に比べ必ずしも迅速でなかったように思われますが、理由について伺います。

答 より正確な状況確認を基本に、情報を提供してきたと考えています。

問 大きな予算を取り、2月に全面的にリニューアルされた町の公式ホームページについて「情報発信が遅い」という意見が寄せられましたが、理由について伺います。

答 より正確な情報を提供するために状況確認をし、確認できたものから、まず防災無線、次にホームページと段階的に情報を発信しました。

問 近隣自治体では、首長自ら防災無線のマイクを持ち、災害の状況を説明したと聞いていますが、防災無線等で状況を説明する考えがなかったのか伺います。

答 より正確な状況確認ができ次第、情報提供を行いました。今後でもできる限り早く情報提供したいと考えています。

大雪被害、処理経費と今後の整備は

問 以前、剪定を要望した象ヶ鼻公園で、今回の大雪により大規模な枝折れなどがありました。処理にかかった経費を伺います。

答 緊急対応しましたが、経費はまだ出ていません。

防災対策

寄居発、月面探査ロボット開発への支援を

答弁⇒「航空・宇宙産業の町」に期待し、支持します



大平 久幸 議員

問 「民間初の月面無人探査を競う国際宇宙レースに、日本で唯一寄居町の自動車関連製造業5社が参戦する」という報道がありました。寄居で開発した、「月面探査ロボット・・・成功」という夢・実現のニュースが聞けそうです。どのように受けとめたのか伺います。

答 寄居町の企業が世界的なプロジェクトや宇宙的なプロジェクトに参加することは、非常に喜ばしく、大いに期待もしています。地元企業の活動が認められ、寄居町の名前が世界に知れ渡ることになる、すばらしいニュースと受けとめています。

国際宇宙開発レース、町の応援は

問 民間の宇宙開発を加速させる国際宇宙開発レースのプロジェクトを町はご存じでしたか。また、町内製造業者に提案した経緯はありますか。

答 宇宙開発の民間レースがあることは、事前には知りませんでした。商工会を通して、さいたまスーパーアリーナで開催された国内最大級の展示商談会の特別企画ブースに出展したと聞いています。

問 埼玉県は、航空・宇宙産業へ参入する企業に支援する具体策も提案しています。「航空・宇宙産業の町」を生み出すための支援や応援が必要と考えます。どのようにお考えか伺います。

答 町としても、今回発表の場所となった「彩の国ビジネスアリーナ」への出展支援を商工会に対し継続的に行っており、今後も商工会と連携しながら、支援や応援を行っていきます。

企業応援

医療・介護

「地域包括ケアシステム」の構築を

答弁⇒増加する高齢者への対応が課題です



佐藤 理美 議員

問 日本は、世界で類を見ない速さで少子高齢化が進行しています。「地域包括ケアシステム」は、各中学校区など生活圏域を単位として、年を重ねる中で必要となる医療・介護・生活支援などの総合的サービスが提供され、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるシステムです。国においても、このシステムの構築を目指しています。そこで、地域包括支援センターの現状と課題について伺います。

答 充実したサービスの提供を図っています。今後は、増加傾向にある高齢者へのさらなる対応が課題であると考えます。

問 医療・介護の連携を図るための「地域ケア会議」設置について伺います。

答 国等の動向を見きわめながら、対応したいと考えます。

データ活用の仕組みづくりは

問 国において新たな仕組みづくりとして「データヘルス計画」の策定が推進されています。そこで町の特定健診・保健指導等により、把握したデータの活用について伺います。

答 今後、予防や健康管理に生かすため、町の保健事業においても、データベースシステムの活用により、効果的な事業の推進を目指したいと考えます。

問 データヘルス推進のため、医師会との連携について伺います。

答 医師会とは、町の課題等について意見交換をしています。今後も医師会との連携を深めていきます。

地域包括ケアシステム…介護が必要になった高齢者も住み慣れた自宅や地域で暮らし続けられるように、「医療・介護・介護予防・生活支援・住まい」の5つのサービスを、一体的に受けられる支援体制のことで。